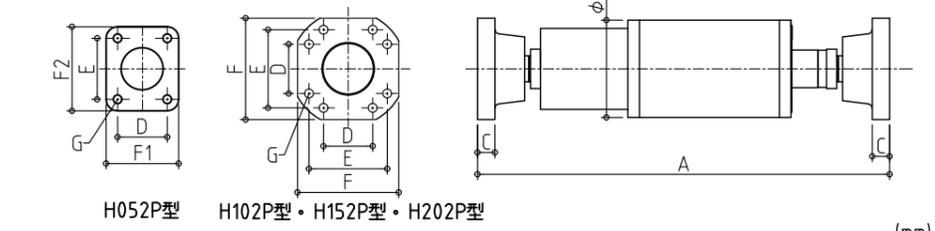


# 油圧式制震ダンパ ハイビルダム設計標準

## 1. ハイビルダム形状・寸法

### (1)シアリンク型

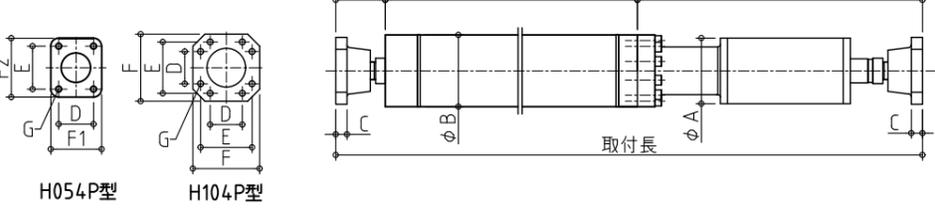


型式	ストローク	取付長	本体径	取付部寸法					剛性 <sup>※2</sup> (kN/mm)	質量 (kg)
				A	B	C	D	E		
H052P型	±60	1060	177.8	32	130	160	F1:190 F2:220	4-φ22 (M20)	145	135
	±80	1160							120	140
	±100	1255							100	150
	±120	1370							85	160
H102P型・H152P型・H202P型	±60	1250	244.5	42	120	192	250	8-φ22 (M20)	285	295
	±80	1345							235	310
	±100	1480							200	335
	±120	1560							170	345
H152P型	±60	1340	315	60	170	270	350	8-φ26 (M24)	450	560
	±80	1425							350	580
	±100	1520							295	605
	±120	1620							255	635
H202P型	±60	1340	336	60	170	270	350	8-φ30 (M27)	500	610
	±80	1425							405	630
	±100	1520							350	655
	±120	1620							300	685

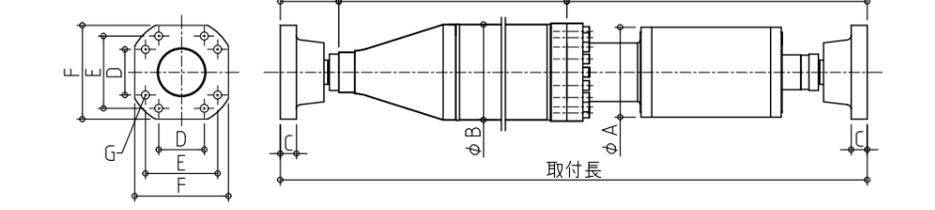
※1 ( )内は取付ボルトサイズとする。  
 ※2 剛性の許容差は-10%以上とする。  
 ※3 取付ボルトは施工者にて手配とする。

### (2)筋違型

#### a.H054P型、H104P型



#### b.H154P型、H204P型

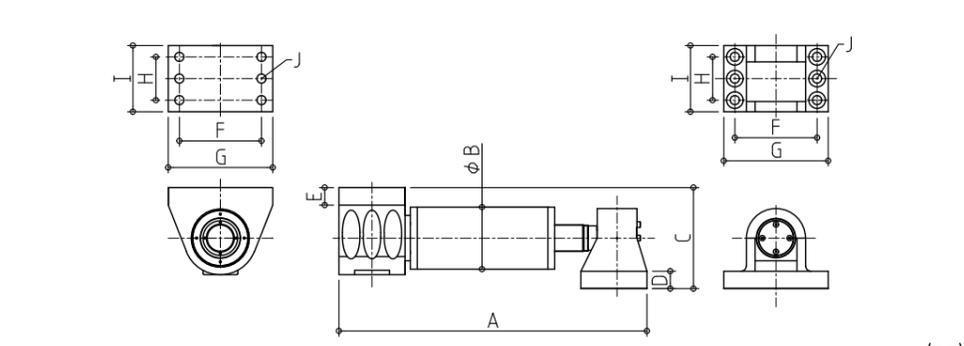


取付長は7000mm以下を標準とする。

型式	ストローク	本体径	ブレース径	取付部寸法					剛性 <sup>※2</sup> (kN/mm)
				A	B	C	D	E	
H054P型	±60	177.8	216.3	32	130	160	F1:190 F2:220	4-φ22 (M20)	145
	±80								120
	±100								100
	±120								85
H104P型	±60	244.5	267.4	42	120	192	250	8-φ22 (M20)	285
	±80								235
	±100								200
	±120								170
H154P型	±60	315	318.5	60	170	270	350	8-φ26 (M24)	450
	±80								350
	±100								295
	±120								255
H204P型	±60	336	355.6	60	170	270	350	8-φ30 (M27)	500
	±80								405
	±100								350
	±120								300

※1 ( )内は取付ボルトサイズとする。  
 ※2 ブレースを除いたダンパ本体剛性とする。許容差は-10%以上とする。  
 ※3 取付ボルトは施工者にて手配とする。

## (3)間柱型(ハイビルダム・スタッド)



型式	ストローク	取付長	本体径	全高	取付部寸法						剛性 <sup>※3</sup> (kN/mm)	質量 (kg)	
					A	B	C	D	E	F			G
H055P型	±60	885	177.8	290	50	50	236	300	124	190	6-φ26 (M24 <sup>※2</sup> )	105	210

※1 ( )内は取付けボルトサイズとする。  
 ※2 ハイビルダム・スタッドの取付けボルトはM24トルシア形超高力ボルトとする。  
 ※3 剛性の許容差は-10%以上とする。  
 ※4 取付ボルトは施工者にて手配とする。

## 2. ハイビルダム仕様

### (1)塗装

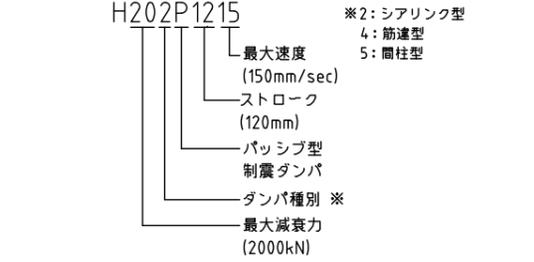
下塗り：合成樹脂塗料  
 上塗り：フタル酸樹脂塗料  
 塗装色：グレー  
 総膜厚：50μm以上

### (2)標準品仕様

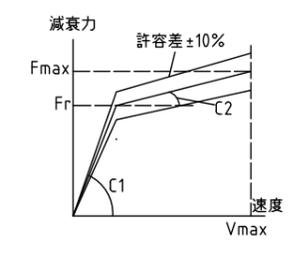
**警告** 仕様の範囲内で使用して下さい。

シリーズ 型式	最大減衰力 Fmax (kN)	リリーフ荷重 Fr (kN)	最大速度 Vmax (mm/sec)	第一減衰係数 C1 (kN·sec/mm)	第二減衰係数 C2 (kN·sec/mm)	
500kNシリーズ H052P型 H054P型 H055P型	500	400	150	7.5	1.03	
				10	0.91	
				12.5	0.85	
			300	15	0.81	
				17.5	0.79	
				7.5	0.41	
	1000kNシリーズ H102P型 H104P型	1000	800	150	10	0.38
					12.5	0.37
					15	0.37
				300	17.5	0.36
					15	2.07
					20	1.82
1500kNシリーズ H152P型 H154P型		1500	1200	150	25	1.69
					30	1.62
					35	1.57
				300	15	0.81
					20	0.77
					25	0.75
	2000kNシリーズ H202P型 H204P型	2000	1600	150	30	0.73
					35	0.72
					22.5	3.10
				300	30	2.73
					37.5	2.54
					45	2.43
2000kNシリーズ H202P型 H204P型		2000	1600	150	52.5	2.36
					22.5	1.22
					30	1.15
				300	37.5	1.12
					45	1.10
					52.5	1.08
	2000kNシリーズ H202P型 H204P型	2000	1600	150	30	4.14
					40	3.64
					50	3.39
				300	60	3.24
					70	3.15
					30	1.62
300		40	1.54			
		50	1.49			
		60	1.46			
		70	1.44			

### 型式説明



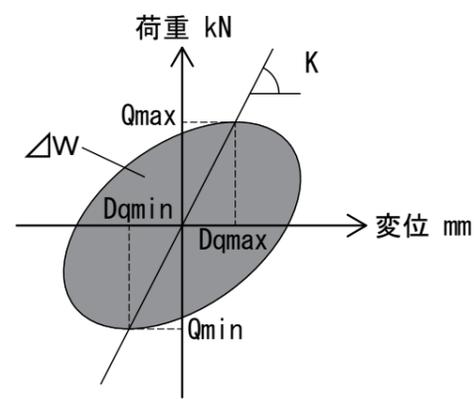
### 減衰特性および性能許容差



## 3. 検査項目

項目	方法	基準	頻度	記録
外観検査	目視	有害な傷・錆がないこと 塗装面が指定塗装色で良好であること		A
寸法検査	スケール、治具、鋼製巻尺	製作図記載の公差内であること		A・B
性能検査 (検査装置 により確認)	ストローク	両端のストロークエンド間の寸法測定	仕様値以上であること	全数 B
	第二減衰係数	等速加力により第二減衰係数領域3点の荷重を測定	測定荷重が仕様の±10%以内	
	最大荷重	仕様最大速度で等速加力を行い荷重を測定	仕様の±10%以内	
	第一減衰係数	正弦波加力(0.3Hz)により荷重と変位を測定し評価式により算出 加力はリリーフ荷重の2/4及び3/4の2水準とする $C1 = [(Q_{max} - Q_{min}) / 2]^2 / (2 \cdot f \cdot \Delta W)$ f: 加力周波数 $\Delta W$ : エネルギー吸収量	仕様の±10%以内	
剛性	正弦波加力(1.0Hz)により荷重と変位を測定し評価式により算出 (ホールドポイントの特性を含む装置剛性を算出) 加力はリリーフ荷重の1/2の1水準とする $K = (Q_{max} - Q_{min}) / (D_{qmax} - D_{qmin})$	仕様の-10%以上		

検査記録： A…検査表に良・否を記入 B…検査表に測定値を記入



**センクシア株式会社**  
SENQCIA

お問い合わせは下記の担当者までご用命ください。

東京 TEL:03-4214-1924 中部 TEL:052-582-3356  
 札幌 TEL:011-708-1177 北陸 TEL:076-233-5260  
 東北 TEL:022-213-5595 関西 TEL:06-6395-2133  
 関東 TEL:027-322-9411 九州 TEL:092-452-0341  
 中四国 TEL:082-240-1630

URL <http://www.senqcia.co.jp/>